

授業づくりを支える

学級経営チェックリスト

授業づくりの基盤は学級経営です。目指す学級集団像を明確にして、計画的、意図的に学級づくりに取り組む姿勢が大切です。基本的な事柄についてチェックシートを活用して振り返ってみましょう。

私が目指す望ましい学級集団（学級経営方針など）

例 支持的風土をもち、自他ともに大切に作る学級集団
規律を大切に、互いに認め合い高め合う学級集団
目標に向かって、何事にも一致団結して取り組む学級集団 など

4…よくできた 3…できた 2…少し努力が必要 1…かなり努力が必要

■チェック項目 1 子どもへの関わり		前年度	1 学期	2 学期	3 学期
1	時期や教師の都合などによって変わることのない、一貫性、公平性のある指導を心がけている。				
2	学校行事などに向けて学級全体で取り組む際、学級集団としての目指す方向（目標）を子どもの意見を取り入れながら明確にしている。				
3	係活動や委員会活動など、一人一人が主体的に活躍する場や役割をつくり、その取組を確実に評価している。				
4	きまりの意味やそれを守る意義を子どもが理解する工夫をし、ルールを守っている子どもをしっかりと認めている。				
5	効果的な褒め方になるよう工夫している。（人前で褒める、個人的に褒める、他の教師にも伝え褒めてもらう、保護者にも伝えるなど）				
6	教師が評価するだけでなく、子ども同士が相互に認め合う活動を取り入れるなど、支持的風土づくりのための工夫をしている。				
7	休み時間などに、子どもと遊んだり、会話を通したりして人間関係を深めるなど、常に子どもに寄り添うよう心がけている。				
8	気になる子ども（学習面、生徒指導面）に対して、声をかけたり、話を聞いたりする機会を積極的につくっている。				
9	生活ノートへのコメントや欠席した子どもへの電話連絡及び家庭訪問をするなど、一人一人を大切な存在として認め関わっている。				

■チェック項目2 保護者への関わり		前年度	1学期	2学期	3学期
10	保護者の話を共感的に受け止めたり、問題が起こったときだけでなく、褒めるべき事柄など、よい情報も報告したりするよう心がけている。				
11	問題行動が起こったとき、学校の方針を確認した上で、家庭訪問などで保護者と顔を合わせて対応している。				

ワンポイント！

子どもや保護者との人間関係は、築き上げるまでに長い時間がかかる反面、ほんの些細なことから一瞬のうちに崩れることもあります。日頃からの地道な関わりが、学級経営の基盤となる「信頼」につながります。

■チェック項目3 同僚との関わり		前年度	1学期	2学期	3学期
12	互いのクラスの子どもの様子や学級経営の在り方などについて、他の教師と情報交換したり、相談したりしている。				
13	学年主任、生徒指導担当教員、管理職などへの報告・連絡・相談を迅速に、欠かすことなく行っている。				

ワンポイント！

ベテラン教員の学級経営の経験やスキルはとても貴重です。会議だけでなく、気軽に学級経営などについて相談し合える教師集団になるよう、「日頃からのコミュニケーション」を大切にしたいものです。

■チェック項目4 教室環境などの整備		前年度	1学期	2学期	3学期
14	子ども、教師の言葉が入ったものや、クラスで協力して制作したものなどを活用し、掲示物を定期的に貼り替えている。				
15	目印や表示を工夫し、机・椅子やロッカー内の整理・整頓などについて指導している。(欠席者への配布物なども確実に本人に届けられている)				

ワンポイント！

貼り替えられた自分や友達の新しい掲示物を見る子どもの輝いた目……。子どもは、自分たちを大切にしてくれる教師の気持ちを体で感じます。大切にされているという実感は、「問題行動の起こりにくい学級集団」につながります！

チェックリストの活用例 日々の学級経営の中で意識しておくことが大切です。

- ① (年度始め) 前年度を振り返り、自己診断を行う。
 - ② (年度途中) 学期の終了時に、同じ基準で自己診断を行う。
 - ③ (年度末) 各項目の点数の推移を振り返り、次年度への改善に生かす。
- ※ 管理職との面談(目標申告など)においても活用できます。